

青森港海域環境創造事業 (あおもり駅前ビーチ 通称：A-BEACH)



暮らしの真ん中に、海を。

令和7年2月6日(木)

青森県県土整備部港湾空港課長 橋本 公学

青森港海域環境創造事業

(あおもり駅前ビーチ 通称:A-BEACH)

- 1. あおもり駅前ビーチ(A-BEACH)について
- 2. 整備予定場所における課題等について
- 3. 青森港海域環境創造事業における整備について
- 4. 事業者公募について
- 5. あおもり駅前ビーチのイベントについて
- 6. 生物多様性の創生について

➤ 1. あおもり駅前ビーチ
(A-BEACH)について

1-1 あおもり駅前ビーチ (A-BEACH) の位置について



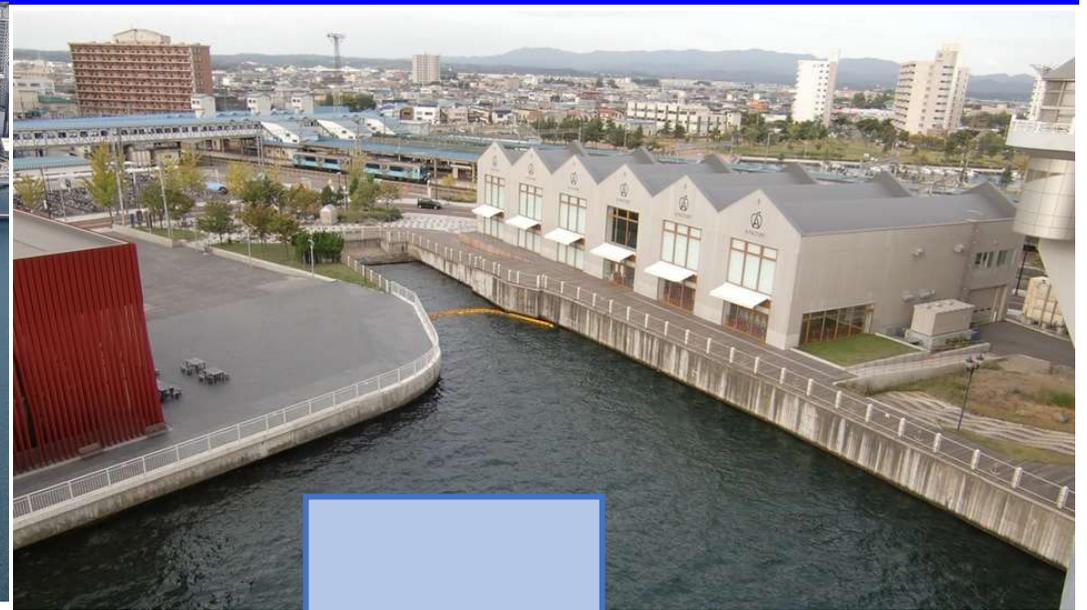
1-2 あおもり駅前ビーチ（A-BEACH）整備前



- 水質改善と親水空間づくりを目的に水深約10mの旧青函連絡船バースを埋め立て約7,300m²の人工海浜（砂浜）を整備
- 2015年度新規事業化/2021年7月22日オープン
- 事業費約7億円



1-3 あおもり駅前ビーチ (A-BEACH) 整備前後



1-4 かつては青函連絡船の着岸場所



出典: 国土交通省 国土画像情報 (カラー空中写真) / 昭和50年度 弘前 GTO-75-20 C12-53

➤ 2. 整備予定場所における
課題等について

2-1 当該箇所の問題点



2-2 かつてのミニ干潟における取組について

入江部の覆砂を実施



2ヶ月後 魚群（クロダイ・メバル等）確認



ミニ干潟での体験イベント



高校生によるビーチづくり



県民・企業によるビーチづくり



小学生による海辺観察会



高校生による稚魚放流



シーカヤック乗船による稚魚放流



海中の様子

➤ 3. 青森港海域環境創造事業
における整備について

3-1 整備の状況について

実証実験(平成26年度)

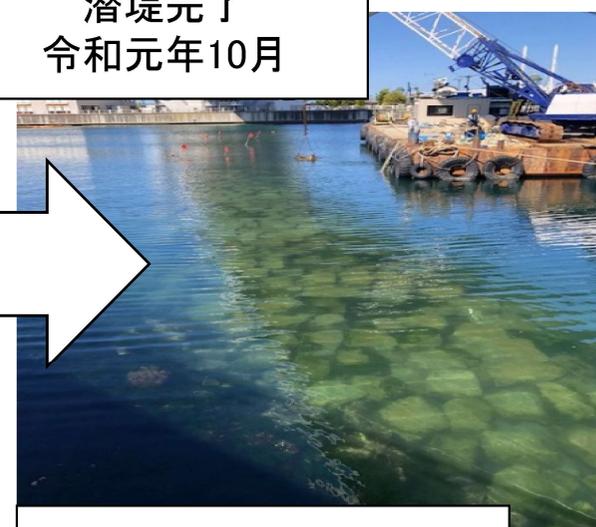


実験的に造成した
三干潟

埋立材Co殻投入完了
令和元年6月



潜堤完了
令和元年10月



養浜砂完了
令和3年6月



埋立材砕石投入完了
令和2年7月



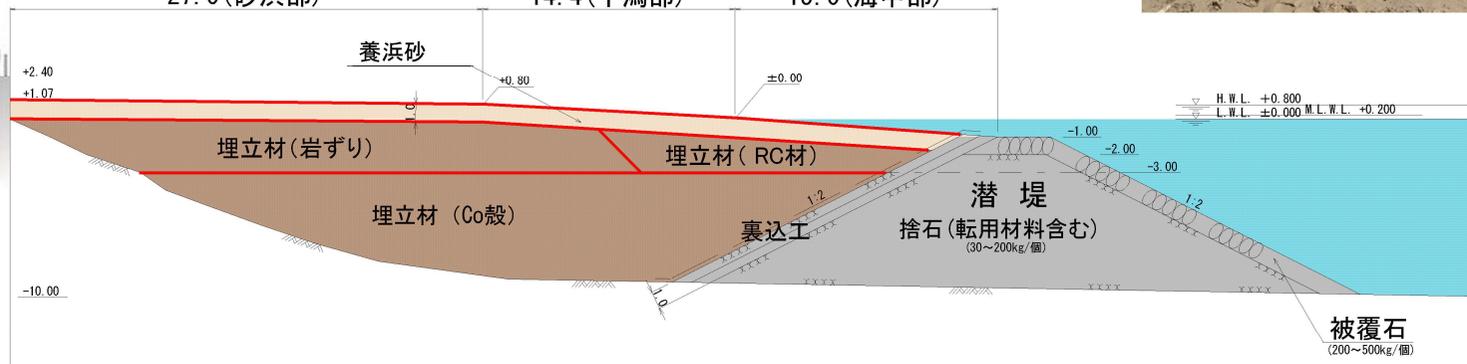
埋立材岩ずり投入完了
令和2年6月



27.0(砂浜部)

14.4(干潟部)

15.0(海中部)



3-2 他工事発生材の転用



➤ 4. 事業者公募について

青森港の人工海浜エリアを利活用する事業者を募集します

更新日付：2020年9月28日 港湾空港課

◆ 新着情報 ◆

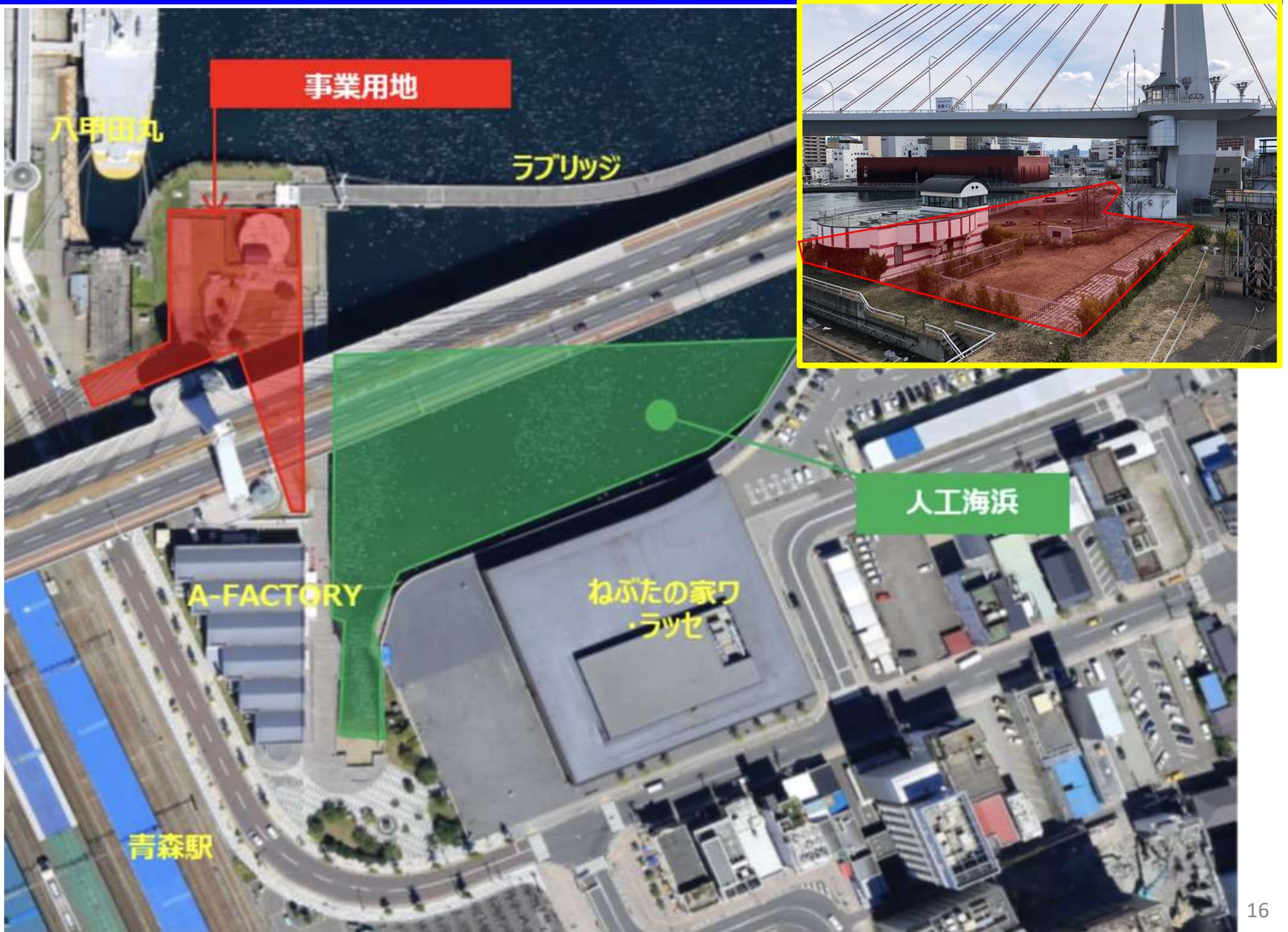
- 2020年12月3日 青森港の人工海浜エリアを利活用する事業予定者を決定しました。
- 2020年8月28日 青森港にぎわい拠点創出・人工海浜管理事業者募集

青森港の人工海浜エリアを利活用する事業者を募集します

青森駅周辺のベイエリアはかねてより来訪者のにぎわい・交流の場となっており、令和2年度末には駅機能の更新及び東西自由通路の供用開始が予定され、青森駅を中心とした「人・まち・海」をつなぐまちづくりが進められています。

こうした中、本県は新たなにぎわい空間の創出や海辺の環境保全を目的に人工海浜の整備を進めるとともに、令和3年7月に予定している人工海浜完成を契機として、事業用地に来訪者の便益機能を有するにぎわい拠点施設を設置・管理運営し、事業用地や人工海浜の管理、環境保全にかかるイベントを実施する民間事業者を募集します。

4-2 事業予定地について



4-3 事業者決定（その1）



ENHANCED BY Google



ホーム > 組織でさがす > 県土整備部 > 港湾空港課 > 青森港人工海浜エリアを利活用する事業予定者を決定しました

画面表示等の変更

青森港人工海浜エリアを利活用する事業予定者を決定しました

更新日付：2020年12月3日 港湾空港課

◆ 新着情報 ◆

- 2020年12月3日 青森港人工海浜エリアを利活用する事業予定者を決定しました。

事業予定者の選定結果

審査委員会による審査の結果、青森港人工海浜エリアを利活用する事業予定者を決定しましたのでお知らせします。

- 【事業予定者】 TEAM CISOLA (チーム シソラ)
- 【今後の予定】 1月末までに事業予定者と協定を締結し、協定締結後に工事を進める予定です。 →2021.2協定締結

4-5 事業者決定 (その2)

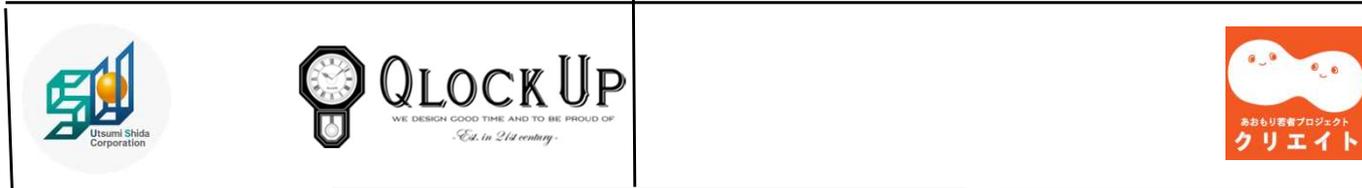
コンソーシアム代表



【港湾協力団体】
NPO法人あおもりみなとクラブ

コンソーシアム
構成図

- ・指定管理事業
- ・海洋教育事業



構成員

志田内海株式会社

株式会社クロックアップ

NPO法人あおもり若者
プロジェクト クリエイト

プロポーザル応募時

- ・総合建設事業
- ・海洋調査事業

- ・空間デザイン事業
- ・飲食事業

- ・人材育成事業
- ・地域づくり調査研究事業

協定締結以降

事業賛同者

出資

事業執行法人



株式会社シソラ
【港湾協力団体申請予定】

事業協力

- ・人工海浜管理事業
- ・賑わいづくり事業
- ・海洋教育・海域環境調査研究事業

4-4 事業者決定 (その3)

豊かな海をデザインする



eisco 合同会社 epco(エピコ)



- ◆ 海に対する思い
- ◆ むつ湾を良くしたい
- ◆ アマモ場を保護したい
- ◆ アマモ場を増やしたい
- ◆ にぎわいあるむつ湾のために



NPO法人あおりみなとクラブ理事
志田内海株式会社代表取締役会長

志田 崇

竜宮礁

- epco代表社員として合同会社を立ち上げ藻場を守る魚礁を開発
- みなとクラブ理事としても子供たちの海の学びを実践するなど、海好きを増やす活動をライフワークとしている

子供の学びをデザインする



あおり若者プロジェクト
クリエイト



NPO法人あおり若者プロジェクトクリエイト

理事長 久保田 圭祐



- 高校生時代に青森を盛り上げるためにNPO法人を設立
- 「街」や「海」を教材とした高校生の人材育成活動（クリエイトまち塾）が全国的にも高い評価を得ている

面白い街をデザインする



QLOCK UP

WE DESIGN GOOD TIME AND TO BE PROUD OF

-Est. in 21st century-



株式会社クロックアップ
代表取締役 中村 公一



- 「面白い街をデザインする」をコンセプトに青森市中心街で複数の飲食店を経営
- 空間デザイン、商品開発、ブランディングなども手掛ける青森を代表するクリエイター

2021.7.1 株式会社シソラ設立

4-5 竜宮礁について

現状と問題点

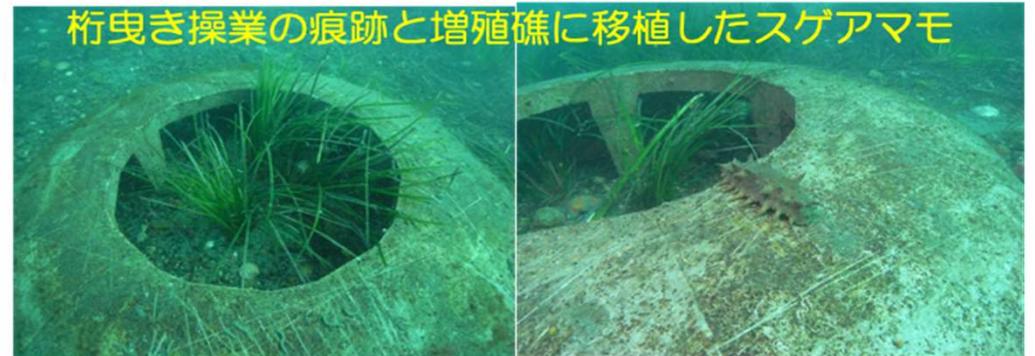
ナマコ桁曳き漁業



スゲアマモ栄養株の移植



桁曳き操業の痕跡と増殖礁に移植したスゲアマモ



桁曳き操業の様子



ナマコとともに刈り取られるスゲアマモ

➤ 5. あおもり駅前ビーチの
イベントについて

5-1 あおもり駅前ビーチ (A-BEACH) オープン



2021.7.22 オープン

5-2 チームCISOLA管理棟



CISOLA Co.,Ltd
 1-4-4,Yanagawa,Aomori
 Phone 050-8883-0030
 Regular day off (Tue)

Lobby
Restroom
Cafe



OPEN 10:00
 CLOSE 19:00

<SERVICE>

- * ACTIVITY DESK
- * LEARNING THE SEA
- * TOURIST INFORMATION



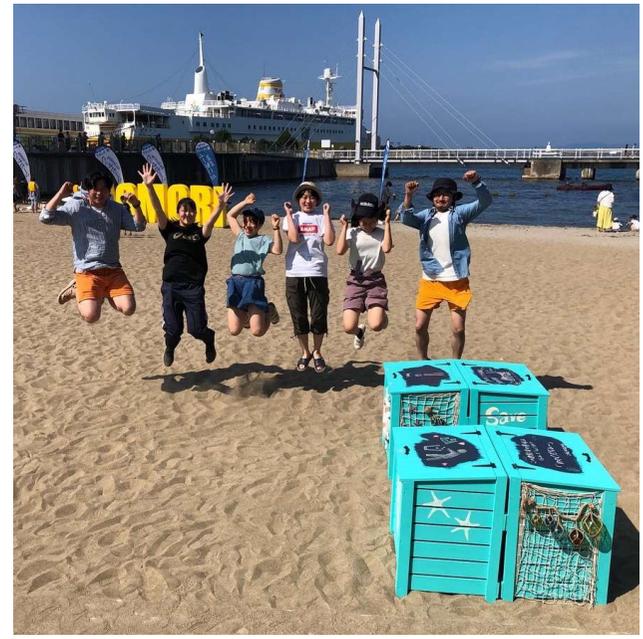
OPEN 7:00
 CLOSE 21:00

<FACILITY>

- * MEN'S ROOM
- * LADIE'S ROOM
- * ACCESSIBLE ROOM



5-3 漂着ゴミ清掃活動



5-4 夏のイベント



ヨガ



バー



シーカヤック



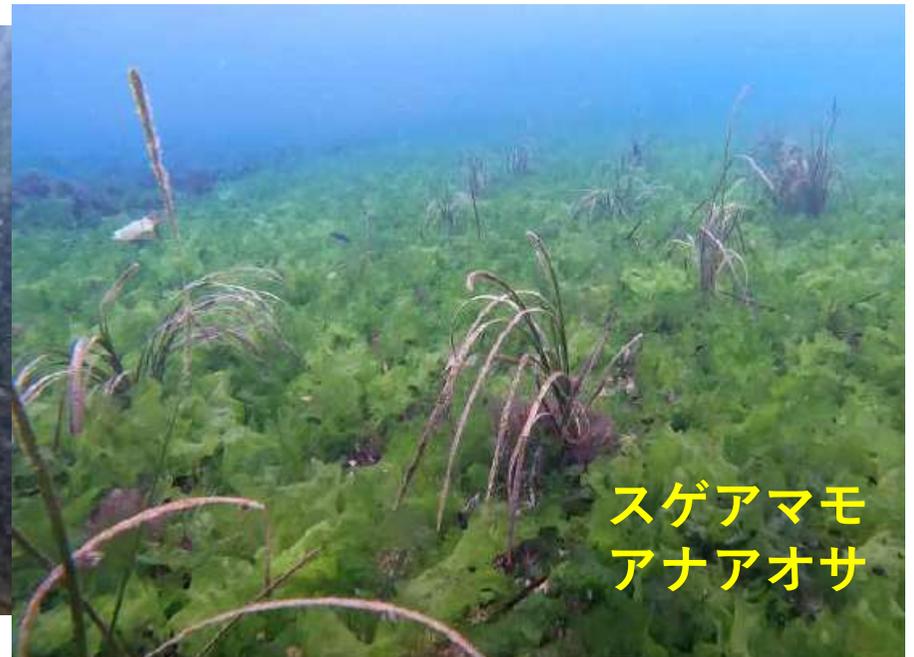
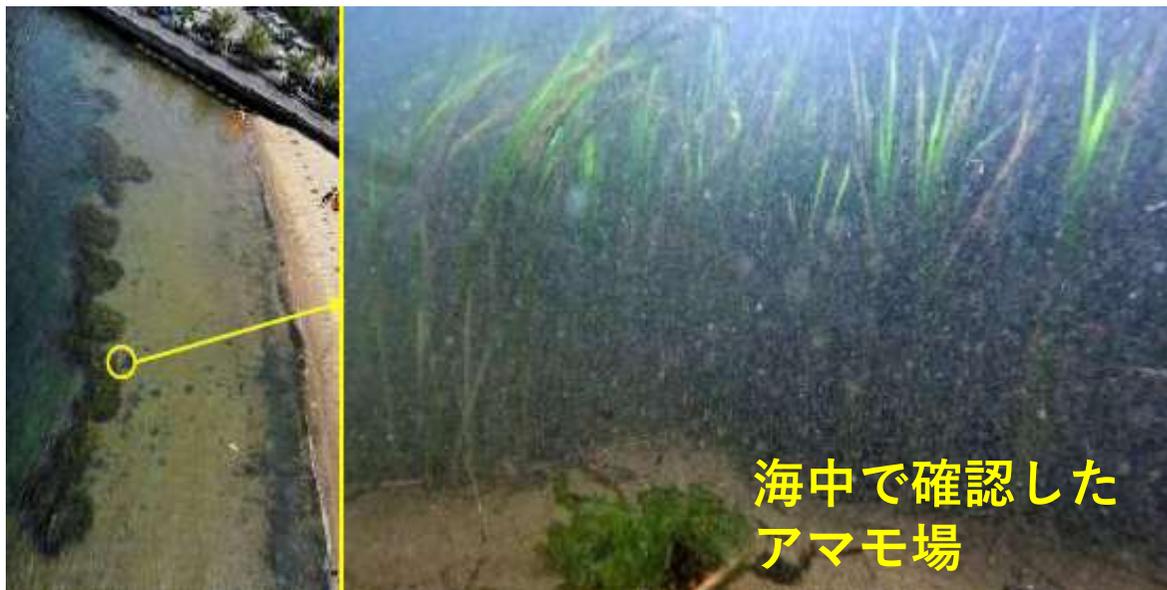
ビーチサッカー

5-5 冬のイベント



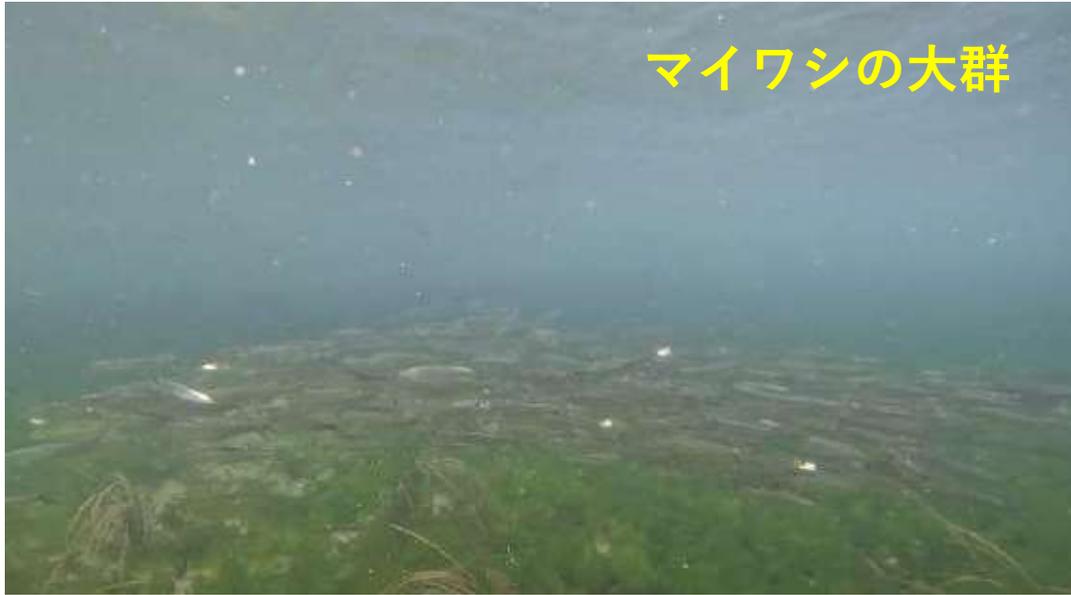
➤ 6. 生物多様性の創生について

6-1 アマモ場の創出



6-2 生物多様性の創出

マイワシの大群



クロダイ



カワハギ



ボラ



あおもり駅前ビーチでブルーカーボン (J-ブルークレジット令和6年3月19日認証) NPO法人あおもりみなとクラブ 志田内海株式会社 八戸工業大学地域産業総合研究所

プロジェクトの概要

【フィールド：あおもり駅前ビーチ】

青森県が青函連絡船の発着所であった岸壁を「人と海のふれあい再生」を目的に、自然豊かで触れ合える港として整備した人工海浜（2021年7月開園）

【活動内容】

自治体、市民団体、企業、大学が連携して「人と水生生物が共存する居心地のいい空間づくり」のために以下のことを行っている。

- ① 海岸及び海中清掃。（居心地のいい空間づくり）
- ② アマモの花枝採取、播種、栄養株の移植によりアマモ場を造成。
（気候変動対策としてCO₂の吸収及び生物多様性を創出するため）

【結果（2021年7月～2023年8月）】

- ① 0.027haのアマモ場を確認。クレジット認証対象のCO₂吸収量0.2t。
- ② カレイ類、メバル類、ハゼ類、ハギ類、ウミタナゴなどの水産動物が生育。

プロジェクトの特徴・PRポイント

【人と水生生物が共存する居心地のいい空間づくり】

- ☆アマモの重要性を発信できる場所。
- ☆地域のコミュニティ及び憩いの場。
- ☆青森港の賑わい創出の一環を担っている。

【青森県では2番目、アマモでは初となるクレジットの取得】

- ☆情報発信により、陸奥湾内のアマモのブルーカーボン事業のフラグシップに。
- ☆活動を拡大していき、気候変動対策及び水産資源の増加に貢献していきたい。



6-4 自然共生サイト登録申請

OECM 2010年に日本で生まれた 自然を守る方法です。

生物多様性条約第15回締約国会議(CBD-COP15)において、2030年までの新たな世界目標である「昆明・モントリオール生物多様性枠組」が採択されました。この世界目標を踏まえ、我が国では、2030年ミッションとして、生物多様性の損失を止め、反転させる「ネイチャーポジティブ」の実現を掲げています。この実現に向けて、2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標(30by30目標)を位置づけています。

【保護地域以外】で、生物多様性保全に資する地域 Other Effective area-based Conservation Measures

『自然共生サイト』について



自然共生サイトとは

ネイチャーポジティブの実現に向けた取組の一つとして、環境省では、企業の森や里地里山、都市の緑地など「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を「自然共生サイト」として認定する取組を令和5年度から開始しました。認定区域は、保護地域との重複を除き、OECM(Other Effective area-based Conservation Measures:保護地域以外で生物多様性保全に資する区域)として国際データベースに登録され、30by30目標の達成に貢献します。

- 「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を保護地域内外問わず『自然共生サイト』に認定。
- 「自然共生サイト」に認定された区域のうち、**保護地域との重複を除いた区域**を『OECM』として登録。

自然共生サイト申請書

受付番号 2024後-

環境大臣 殿

西暦 2024 年 9 月 25 日

申請者の氏名又は団体名称

特定非営利活動法人あおもりみなとクラブ

代表者氏名

理事長 渡部 正人

「自然共生サイト」の認定審査を受けるため、次のとおり申請いたします。
なお、本申請書(様式1,2,3)の記入内容及び添付資料の内容について、**事実と相違ないことを誓約**いたします。

サイト名	あおもり駅前ビーチで里海づくり
------	-----------------

1. 申請者情報(複数名の申請者が存在する場合は、代表者のみ記入。その他の申請者は別シートへ記入。)

複数名/単独の別	<input checked="" type="checkbox"/> 複数名での申請である(全部で 3 名/団体)	※別シートへ記入(クリック)
申請者の情報 (申請者が団体の場合) ●複数の団体による申請の場合は、代表者のみを記入。代表者以外は「※別シートへ」をクリックいただき別途記入。	申請者(団体)の名称	フリガナ トクテイヒエイリカツドウホウジンアオモリミナトクラブ 特定非営利活動法人あおもりみなとクラブ
	申請者(団体)の代表者氏名	フリガナ リシチョウ ワタナベ マサヒト 理事長 渡部正人
	郵便番号・住所	〒 030-0821 青森市勝田二丁目24-7
	WebサイトURL	https://aomori-hakkoudamaru.com
	担当者の所属部署	理事長 渡部正人
	担当者の氏名(フリガナ)	志田 崇(シダ タカシ)
	連絡先(ハイフン入り)	Tel: 090-2028-5577 Mail: takashi-shida@shidautsumi.com

「あおもり駅前ビーチで里海づくり」 で自然共生サイトに登録申請中

ご清聴ありがとうございました。



2024.08.06
飛鳥II (50,444 t)